

# 歴史能力検定 第43回 (2024年)

## 1級—日本史 解答・解説

1—④ 2—② 3—④ 4—② 5—③

6—② 7—③ 8—① 9—④ 10—③

11—③ 12—① 13—② 14—④ 15—①

16—③ 17—④ 18—① 19—③ 20—④

21—屈葬 22—四隅突出

23—史料1の『後漢書』東夷伝には奴隸を意味する生口、史料2の  
「魏志」倭人伝には女王の卑弥呼、それぞれ支配階級・被支配階級  
とされる大人・下戸などの身分が記されている。(80字)

24—庭訓往来 25—珠洲焼 26—閑谷学校

27—イギリス船が長崎湾に侵入したフェートン号事件後に、佐賀藩は  
海防意識を強め、鍋島直正のもとで有田焼の専売、均田制が実施  
され、反射炉を備えた大砲製造所が設けられた。(80字)

28—柴野栗山 29—山川菊栄 30—小林多喜二

### 1

1. ④銅剣、銅矛、銅鐸といった青銅器がまとまって出土したのは島根県の荒神谷遺跡。佐賀県の菜畑遺跡では縄文時代晩期、もしくは弥生時代早期の水田跡が確認されている。
21. 屈葬は縄文時代の一般的な葬法で、遺体を折り曲げることで死者の靈を封じ込める意味があったとされている。
22. 弥生時代後期になると、西日本を中心に、方形墳丘の四隅に張出しがつく四隅突出型墳丘墓や、円形の墳丘の両側に突出部をもつ岡山県の楯築墳丘墓など、大型の墳丘墓が出現した。このような大規模な墓の出現は、集落内の身分差や首長の存在を示すものとされている。
23. 「弥生時代に階級差が生じていたとされる根拠」を答える問題。それぞれの史料の名称や空欄にあてはまる語句を示し、身分に関する記述がみられることを指摘すればよい。史料1の一般的な名称は『後漢書』東夷伝。( エ ) にあてはまるのは「生口」であるが、「階級差が生じていたとされる根拠」という要求から、「生口」が奴隸であることを指摘する必要があった。史料2の一般的な名称は、「魏志」倭人伝。( オ ) には「卑弥呼」、( カ ) には「女王」、( キ ) には「下戸」、( ク ) には「大人」があてはまる。
2. Ⅲは前期、Ⅱは中期、Ⅰは後期の特徴を説明した文。

3. ④定朝が制作したのは、平等院鳳凰堂阿弥陀如来像。如意輪觀音像では、弘仁・貞觀文化期の觀心寺如意輪觀音像がよく知られている。

4. ①憲法十七条の第四条の一部。③は『令義解』の田令の一部。④は『令義解』の軍防令の一部。

5. ③古墳時代の終末期にあたる7世紀には、巨大な前方後円墳は築造されなくなり、かつて前方後円墳を築造した首長層が大型の方墳や円墳を営む一方、近畿の大王(天皇)は7世紀中頃になると八角墳を築造するようになった。

### 2

24. 『庭訓往来』は、12カ月にわたる往復の手紙文形式によって、生活に密着した知識を網羅的に紹介した実用書。室町時代だけでなく、江戸時代にも寺子屋などで初等教育の教科書として利用された。
6. ②東郷荘は、伯耆国にあった京都松尾神社領の荘園。鎌倉時代における、領家と地頭の下地中分の絵図が残されていることで知られるため、「半済令が出されるなかで、守護が荘園を侵略していた事実を明らかにした」は誤り。
7. Ⅱ1185年、大江広元が守護・地頭の設置を建議した場面を扱った記事。Ⅰ1221年の承久の乱に関する史料。後鳥羽上皇によって北条義時追討の命令が出されるなかで、北条

政子が御家人の結集をうながしている場面。Ⅲ1232年に定められた御成敗式目に関する記事。

8. ①岩手県平泉の柳之御所の発掘調査では、陶磁器が出土しているが、同地を拠点としていた奥州藤原氏は、13世紀後半に元が建国される前の1189年に、源頼朝によって滅ぼされていた。
9. ④大友能直は、鎌倉幕府草創期の御家人で、豊後大友氏の祖。豊後を拠点としていた戦国大名として、大友義鎮（宗麟）があげられる。
10. ①最勝寺を建てたのは鳥羽天皇で、堀河天皇は尊勝寺を建てた。②北山十八間戸は、忍性により、京都ではなく奈良に設けられた。④嘉吉の変や足利義勝の將軍就任を機に嘉吉の徳政一揆が発生したのは戦国時代よりも前の1441年。戦国時代は一般的に15世紀後半からとされている。
25. 能登半島で生産されていたのは珠洲焼。

## 3

11. ③陽明学者として知られる中江藤樹の門人は熊沢蕃山。荻生徂徠やその門人太宰春台は古学派の儒者。
12. ②貝原益軒が著したのは『大和本草』。『庶物類纂』は稻生若水らによって著された。③吉田光由が著したのは『塵劫記』。『発微算法』を著したのは閔孝和。④『農具便利論』を著したのは大蔵永常。宮崎安貞は『農業全書』を著した。
13. ②天保の改革で出された人返しの法の一部。①太閤検地に関する史料。③は人掃令、④刀狩令の一部。
14. I 「振袖火事」とも呼ばれる明暦の大火は1657年、Ⅲ「竹内式部」が追放刑となった宝暦事件は1758年に発生した。II 「適々斎塾（適塾）が開かれた」のは1838年。
26. 池田光政は、17世紀後半、閑谷学校を創立した。
27. 「19世紀前半における佐賀藩での改革について」を要求、「空欄（ア）藩に関する」文章を参考にすること、「空欄（ウ）～（オ）にあてはまる語句」を使用することを条件とする問題である。「（ア）藩」とは佐賀藩、「空欄（ウ）～（オ）」には、それぞれイギリス、長崎、鍋島直正があてはまる。抽象化されている表現は具体化することを求められていると解釈するべきであるため、「事件」がフェートン号、「陶磁器の専売」の陶磁器が有田焼、「本百姓体制の再建をはかる政策」が均田制、「溶鉱炉」が反射炉であることを明示しつつ、「洋式工業の導入をはかる措置」にあたる、大砲製造所が設けられた点についても言及する必要があった。
28. 寛政の三博士は、柴野栗山、尾藤二洲、岡田寒泉（のち古賀精里）。

## 4

15. I 「日ソ基本条約が締結され、ソ連との国交樹立が実現した」のは、加藤高明内閣時の1925年。II 「恐慌の発生を背景に、当時の内閣が台湾銀行を緊急勅令によって救済し

ようとした」のは1927年。「恐慌」とは金融恐慌、「当時の内閣」は第1次若槻礼次郎内閣。Ⅲ「日中（日華）関税協定が締結され、中国の関税自主権を承認する措置がとられた」のは、浜口雄幸内閣時の1930年。

16. ①「第一議会が開催され、同内閣は立憲自由党の一部を切り崩して予算案を成立させた」のは、黒田清隆内閣ではなく第1次山縣有朋内閣。②第2次山縣有朋内閣時には、憲政党の支持を得て、地租増徴案が成立した。④「『国体』の変革条項の違反者の最高刑が死刑・無期とされた」のは、加藤高明内閣時に成立した1925年の治安維持法ではなく、田中義一内閣時の1928年に改正された治安維持法。
29. 山川（青山）菊栄は、1907年に東京府立第二高等女学校を卒業し、翌年に女子英学塾に入学した。1916年には社会主義運動家の山川均と結婚し、1921年には伊藤野枝らと赤瀬会を結成した。第二次世界大戦後、1940年代後半には、初の労働省婦人少年局長に就任した。
17. ①日清戦争後、高野房太郎や片山潜らによって結成されたのは、日本労働総同盟ではなく労働組合期成会。②大正時代には鈴木文治らによって友愛会が結成された。友愛会は、1920年代にかけて、大日本労働総同盟友愛会、日本労働総同盟へと改称され、労資協調主義から階級闘争主義へと方向を転換していく。③第二次世界大戦後の1946年、労働組合の全国組織として、右派の日本労働組合総同盟、左派の全日本産業別労働組合会議が結成された。
18. ①1911年に制定された工場法の一部。工場法では少年・女性の就業時間の限度が12時間とされ、その深夜業も禁止された。②1938年に制定された国家総動員法の一部。③1900年に制定された治安警察法の一部。④1887年に制定された保安条例の一部。
19. ③小学校が国民学校に改められたのは、大正時代ではなく昭和時代の1941年。
30. 大正時代に積極的に労働運動・共産主義運動に関係した小林多喜二は、プロレタリア文学（無产階級の文学）の作家としても活躍した。1929年、プロレタリア文学雑誌『戦旗』に掲載された『蟹工船』は、その代表作として知られる。1931年に非合法のもとで活動していた日本共産党に入党し、その活動に関わったが、1933年に逮捕され、築地署で特別高等警察（特高）の拷問にあい、死亡した。
20. ④財閥解体の一環として、1947年に制定された過度経済力集中排除法にもとづき、日本製鉄・三菱重工などが分割された。①日本がO E C D（経済協力開発機構）に加盟したのは、高度経済成長期の1964年。②日本経済を国際経済に直結させるため、ドッジ＝ラインの一環として、1ドル=360円の単一為替レートが設定された。日本が変動相場制を採用したのは1973年。③農業基本法は、高度経済成長期の1961年に制定された。

【写真所蔵・提供】

島根県立古代出雲歴史博物館所蔵（1－問3）